

コミュニティサイト

コミュニティサイトとは

コミュニティサイトとは、興味や関心を共有する人々がインターネット上に集まり、情報交換を行うコミュニケーションを中心とした Web サイトやインターネットサービスの総称である。

人が集まることで共同体＝コミュニティが生まれるが、インターネットを用いたコミュニケーションツールを使うことで地理的条件や時間、社会的立場など様々なしがらみや拘束を乗り越え、今までの対面的コミュニケーション中心の社会では考えられなかった多様なコミュニティが作られるようになった。

これらの共同体は、趣味や関心、余暇の過ごし方といった仕事以外のつながりだけでなく、同じ職業、同じ資格を目指す人たちのコミュニティサイト、レストランのロコミ情報の交流、さらには同じゲームソフトを使っている人たちやいわゆる出会い系サイトなどもコミュニティサイトの一種であり、その目的と種類や規模は多種多様である。

コミュニティサイトでは、メールや掲示板、チャット、ブログ、プロフ、ツイッターなど多様なコミュニケーションツールを利用して情報を交換・共有しているが、今後さらに様々なコミュニケーションツールやサービスが生まれる中で新たなコミュニティも形成されると予想できる。参加者が新しいメンバーを紹介して共同体を内部に形成するミクシーなどの SNS サービスや、利用者自身が自らの知見を集めて共同で編集するウィキペディアなども新しい形のコミュニティサイトの一種である。

コミュニティサイトの問題点

学校や会社は実際にリアルな人が集まり、お互いの顔を見ながらコミュニケーションを行う対面的コミュニケーションの場となっている。

しかし、コミュニティサイトでは、このようなリアルなコミュニティとは異なり、あくまでもネットワーク上のツールを介した顔が見えない相手との交流であり、また自分の個人情報を相手に知られるこ

とも多くない。このため、コミュニティに一旦参加したくないと思えば、いつでもコミュニティを抜けることができる。このようなことから、コミュニティサイトでのつながりは基本的には希薄な関係と言える。

しかし、その一方で、コミュニティサイトは地理的条件や時間、社会的立場に拘束されず大きな母数の中から気の合う人を選ぶことが可能で、四六時中コミュニケーションを行うことができるため、中には家族以上の連帯意識や親密さを感じる者もいる。

学校や地域など実際の共同体とネット上のコミュニティとの違いや危うさに気づかないまま、子どもたちが安易にコミュニティサイトに参加することは危険である。コミュニティサイトにはネットワークの特性である匿名性(→p.66)やそれを悪用したなりすまし(→p.69)の危険があるからだ。

実際、コミュニティサイトで知り合い、ネット上での交流を続けるうちに相手の言うことをすべて信用するようになり、その相手から呼び出されて実際に会いに行つたために事件に巻き込まれることも起こっている。

実際の共同体とコミュニティサイトとの違いや、コミュニティサイトの危うさを子どもたちにしっかり指導することが求められる。